



# 士別ロータリークラブ会報

創立 1960・3・24 RI第 2500 地区

Vol. 35 No. 2852

## 2023-2024年度国際ロータリーのテーマ

2023-2024年度R I 会長 ゴードンR.マッキナリー

## 2023-2024年度R I 第2500地区テーマ

ガバナー 鶴見誠一郎

今こそ変わる勇気を！さあ、一歩前へ

## 2023-2024年度士別ロータリースローガン

【勇気ある行動で友情と奉仕の実践へ】

～ Let's begin ～



世界に希望を生み出そう

- 会長 / 菊地 昭通
- 副会長 / 山下 卓己
- 幹事 / 福島 和秀
- 例会場 / 士別グランドホテル
- 例会日 / 毎週月曜日 12:10～13:00

2500地区ホームページ <http://rid2500.jp/>

士別RC <http://www.douhoku.jp/sibeturc/>

RIホームページ <https://www.rotary.org>

第2939回例会 2024年 5月 20日

### 今日のプログラム

普通例会

### 前回(5月13日)の記録 普通例会

司 会 志村孝幸 会場監督  
齊 唱 国家斉唱・奉仕の理想  
本日の出席 会員 43中 出席者 29人 出席率 86.05%  
本日の欠席 榎本實男・大江智宣・大橋直幸・尾崎学・川東久聖・北村浩史・近藤峯世  
田中道也・奈良康弘・南條忠勝・深尾幸夫・前田孝幸・山下卓己・宮崎隆雄  
メイクアップ  
ビジター  
ゲスト 士別翔雲高校校長 佐藤敬二 様  
ニコニコBOX 佐藤元信会員 (第1回P.G同好会例会優勝記念)  
谷村一文会員 (結婚記念日・日ハム逆転サヨナラ勝利記念)

累計 435,000円

### 例会予定

#### ■ 5月例会日 [青少年奉仕月間]

- 5月 6日(月) 休会 (こどもの日振替)
- 5月 13日(月) 普通例会・理事会
- 5月 20日(月) 普通例会
- 5月 27日(月) 夜間例会

#### ■ 6月例会日 [ロータリー親睦活動月間]

- 6月 3日(月) 普通例会・理事会
- 6月 10日(月) 普通例会
- 6月 17日(月) 休会
- 6月 24日(月) 夜間例会

## ■ 会務報告……………菊地 昭通会長

企業におけるコンプライアンス違反が頻繁に取り沙汰されている昨今、何気なく発した一言がきっかけで大問題に発展するケースも少なくありません。

例えば、「男なんだから…」という言い方には「男らしさ」「女らしさ」のように、性別によって相手の行動や心情を区別する考え方が含まれています。

かつては、人を男と女に分けることが一般的でした。今では「LGBTQ+」という言葉「セクシュアルマイノリティ(性的少数者)を代表するレズビアン、ゲイ、バイセクシュアル、トランスジェンダー、クエスチョニング」の5つの頭文字を取った言葉が表す通り、身体的、精神的に男・女と二分せずグラデーションのようになっていて、性の在り方は一人ひとり多様であることが可視化されるようになりました。「男だから」「女だから」と、性によってひとくくりにするのをやめて、個人の違いを尊重した発言を日ごろから心がけ、さらにどの性にも属さない人や、属したくないと思う人が存在することに対する理解と配慮が必要になります。

性別による決めつけはNGであり、「男なんだからしっかりしてくれよ」と言う方は、何気ない一言のように思えるが「君はダメなやつだな」と相手を見下すニュアンスも感じさせ、言われた人を傷つける可能性があります。

では、どんな言葉に置き換えればよいのだろうか？ まずは性別を持ち出さない。業務上での期待値に相手が達していなかったり、ミスがあったりした場合には、「〇〇さんにはこの段階までやってほしい」「ミスは繰り返さないように気をつけて」などという言い方が好ましいです。

上司として部下への期待値をきちんと伝える。期待値のレベルと現状のギャップを説明し、それをどう埋めていくか確認と調整が大切です。

言葉違いだけ丁寧にしても、相手を下に見ているスタンスが変わらなければ、部下には上司に見下されている感じが伝わります。部下と相手するときの自らのスタンスを適切に据え直し、その上で相手の立場に立って指導する言葉をかけるのが大切であります。

ジェンダー平等が当たり前の昨今だからこそ、男女にとらわれず、チームとしてどうするのか、会社としてどうするのか、という視点に立った言葉選びを心がけなければいけないと思います。

## ■ 幹事報告…………… 福島 和秀 幹事

1. 今月のロータリーレートは1ドル157円となります。
2. 先にご案内の通り、5月27日の夜間例会は花実例会となっております。まだ出欠の確認を出されていない方は、確認の程よろしく願いいたします。
3. 第2分区IMの登録をしました方は、井口会計まで登録料10,000円を提出願います。また18日は10時30分より士別グランドホテルよりバスで出発します。
4. 本日の例会終了後理事会を開催いたしますので、理事役員の皆様はご出席の程よろしく願いいたします。

## ■ 次年度幹事報告……………近井孝義次年度 幹事

1. 次年度活動計画書小谷ガバナーエレクト指示の5月10日に提出しました、各委員会委員長の皆さんまた志村会員には、何度も訂正などお願いし有難うございました。
2. 後日案内を出しますが、6月3日次年度理事会を開催します。次年度理事・役員の皆さんは、出席の程よろしく願いします。
3. 今日現在のMy Rotary 登録が17名 未登録26名と成っています。地区では、100%登録を目指しています。
4. 今年度、4月末日をもって大韓民国第3590地区との姉妹提携が満了し更新されていません。個人的には、いろいろ交換留学等で問題が有りガバナー個人負担もかなりの額と成てるようで良かったと思っておりますが、これから先は、慎重に検討するようです。
5. 次年度社会奉仕委員長より報告が有ります。

## ■ 次年度社会奉仕委員長……………片庭暁隆委員長

次年度社会奉仕片庭委員長

1. 7月6~7日ふれあい広場が開催されます、今年はふれあいの夕べも開催され手伝いも必要と成りますのでよろしくお願いいたします。
2. 7月21日士別ハーフマラソンが開催されボランティアの要請が有りました、Tシャツが支給されますので協力の程よろしくお願いいたします。

## ■ゲスト卓話……土別翔雲高校校長 佐藤敬二様

皆様、こんにちは。土別翔雲高校、校長の佐藤でございます。お集まりの皆様には、日頃から本校の教育活動の発展にお力添えいただきまして、本当にありがとうございます。心より感謝申し上げます。また、土別ロータリークラブ様には、例年本校に多分なる御寄附をいただき、教育活動を支えていただいております事に重ねてお礼申し上げます。ありがとうございます。若輩者の私が諸先輩方を前にお話をすることに大変恐縮しております。今日は本校の抱えている課題ですとかこれまでの取り組み、それから課題解決に向けての根拠、こういったものを私自身が整理するためにも出席の方がいいのではないかと考え、参加をさせていただいております。限られた時間ではありますが、どうぞよろしくお願いいたします。

ご存じのとおり、本校は今年度、普通課人学級が削減となりました。生徒募集が必要な課題となっております。昨年度のパンフレットを持ってきましたが、ここに記載のとおり、これまでも本校は魅力化に向けて様々な取り組みをしております。また土別市からも多大なご支援をいただいております。本校の魅力化に向けて何か新しいものを取り組むということも大切ですが、それよりも、これまで取り組んできたことを改善し、充実させ、またそれらを広く周知していくといったことの方が大事ではないかと考えております。その根拠となるのが、実は改定されました学習指導要領の基本的な理念であります。社会に開かれた教育課程という考え方です。資料の一つ用意いたしました。本日はこの社会に開かれた教育課程。これをテーマにお話をさせていただきます。まず、学習指導要領についてですが、学習指導要領とは、小学校、中学校、高等学校、それから特別支援学校を対象に教育課程内容。学校でどういうことを教えるのかというものを示したものです。いわゆる教科書検定の基準になるもので、ほぼ10年に1度改定されております。これが改定されて高校では2022年度の入学生、今の高校3年生は入学してから年次進行で実施され、今年3年目を迎え、全ての学年で新しい学習指導要領に沿って教育課程が実施されているところです。今回の改定についてですが、文部科学省ではこのように言っております。グローバル化や人工知能AIなどの技術革新が急速に進み予測困難なこれからの時代、子どもたちには自ら課題を見つけ自ら学び自ら考え自ら判断して行動し、より良い社会や人生を切り開いていく力が求められているという考えから、学校での学びを通じ、子どもたちがそのような生きる力を育むために改定されたものであるとこのように言っております。資料の方、社会に開かれた教育課程というものですが、これは文科省のホームページから取ったものですが、その表紙1ページ下の方に図があります。今回改定された新しい学習指導要領では教育課程全体や各教科などの学びを通じて何が出来るようになるのか、そういう観点から図の左下になりますが、知識及び技能右側になりますが、思考力、判断力、表現力など、そして上になります。学びに向かう力、人間性など、この3つの柱からなる資質、能力を総合的にバランスよく育てていくことを目指しているものです。ここにある左下にある知識、技能で

すが、個別の事実的な知識だけではなく、習得した個別の知識を既存の知識、それと関連づけて理解し、実際の社会や生活の中で働く知識となるものも含む広い意味での知識です。そして、その知識、技能をどう使うか図の右側になりますが、未知の状況にも対応できる思考力、判断力、表現力など、さらに上になります。学んだことを、人生や社会に分化させる、学びに向かう力、人間性など、これを含めた資質、能力の3つの柱を一体的に育成するというものです。このような資質能力を育成するための理念が、社会に開かれた教育課程という言葉です。この社会に開かれた教育課程の実現がなぜ求められているのかが求められている理由ですが、社会のつながりの中で学ぶことで、子どもたちは自分の力で人生や社会をよりよくできるという実感を持つことができます。このことは、変化の激しい社会において子どもたちが困難を乗り越え、未来に向けて進む希望や力になります。そのため、これからの学校には、社会と連携・共同した教育活動を充実させることがますます求められます。言い換えますと、子どもたちが変化の激しいこれからの社会を乗り越え生きていくためには、学校と社会が連携・共同した教育活動が必要であるということです。この社会に開かれた教育課程にはポイントが3つあります。社会に開かれた教育課程の3つのポイントです。1つ目が、より良い学校教育を通じて、より良い社会をつくるという目標を学校と社会が共有します。2つ目下です。これからの社会をつくり出していく子どもたちに必要な資質・能力が何かを明らかにし、それを学校教育で育成する。3つ目、地域と連携・共同しながら目指すべき学校教育を実現します。これが3つのポイントです。冒頭にも触れましたが、本日お集まりの皆様方にはこれまでも本校の教育活動にご協力、ご支援をいただいているところですが、今お話しさせていただいたように、これからの地域の未来を担う子どもたちの育成のために、まさに社会に開かれた教育課程の実現のために、今後とも皆様方にはお力添えをいただきますようお願い申し上げます。拙いお話で大変失礼いたしました。最後までご清聴いただき、ありがとうございました。



(土別RC60周年記念事業 土別翔雲高校への寄付贈呈)